

イラクナの製品情報

少し食べるだけで**胃に残って苦しい**  小林製薬

☒ 少量でも食べきれない ☒ お腹が空きにくい

イラクナ

胃の動きを活発にして
胃もたれ、胸やけを治す

 10錠 第②類医薬品

**膨満感に
速攻1錠***

*1日3回

あたら
いいな[®]
をカタチにする

 小林製薬

2026年7月
小林製薬株式会社

イラクナ

販売名：イラクナ

- OTCとして初めてとなる医療用成分が、
胃もたれ、膨満感、食欲不振、はきけを改善。
- 弱った**胃の動きを活発にして**、胃の不快症状を治します。

区分：**第②類医薬品**

2026年9月
第1類医薬品から**第②類医薬品**へ変更予定



10錠 ￥1,000 (税抜)

※価格はメーカー希望小売価格です



イラクナは、医療用からOTCとなったスイッチOTC医薬品

■ 処方

効能・効果

胃もたれ、胃部・腹部膨満感、食欲不振、胸やけ、はきけ、嘔吐

用法・用量

次の量を**食前**に水またはお湯で服用

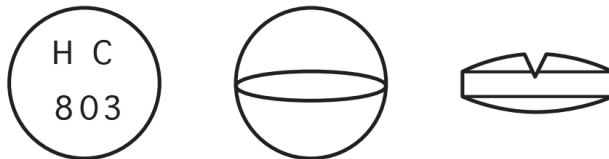
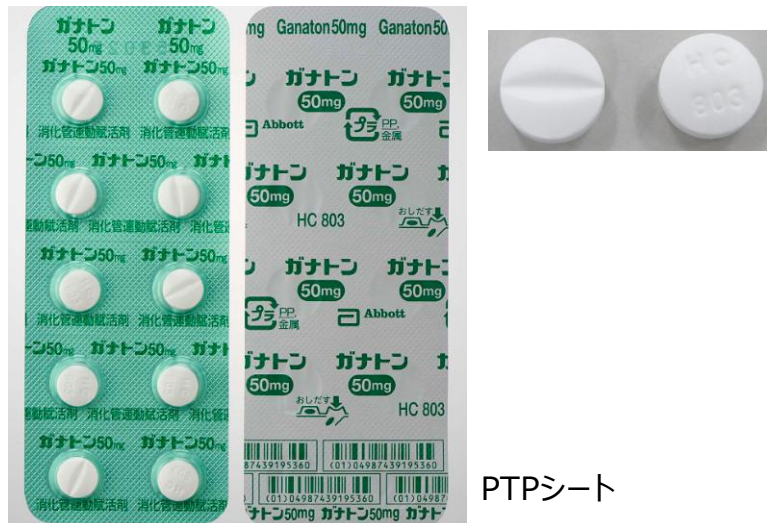
年齢	1回量	服用回数
大人（15才以上）	1錠	1日3回
15才未満	×服用しないこと	

成分・分量（1日量：3錠中）

成分名	分量	作用
イトプリド塩酸塩	150mg	低下した胃の運動を活性化する

添加物：乳糖、トウモロコシデンプン、CMC、無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、カルナウバロウ

ヴァートリス製薬合同会社の医療用医薬品「**ガナトン錠50mg**」
の有効成分を**スイッチOTC化**

イラクナ		ガナトン錠50mg				
製造販売元	小林製薬株式会社		ヴィアトリス製薬合同会社			
効能・効果	胃もたれ、胃部・腹部膨満感、食欲不振、胸やけ、はきけ、嘔吐		慢性胃炎における消化器症状（腹部膨満感、上腹部痛、食欲不振、胸やけ、悪心、嘔吐）			
用法・用量	1回1錠、1日3回食前に水又はお湯で服用してください。 ●15才未満は服用しないこと		通常、成人にはイトプリド塩酸塩として1日150mgを3回に分けて食前に経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜減量する。			
製剤の性状						
色・剤型	白色のフィルムコーティング錠（割線入り）					
外形				直径	厚さ	平均重量
				7.3 mm	3.1 mm	130 mg
				識別コード	HC803	
製剤写真						

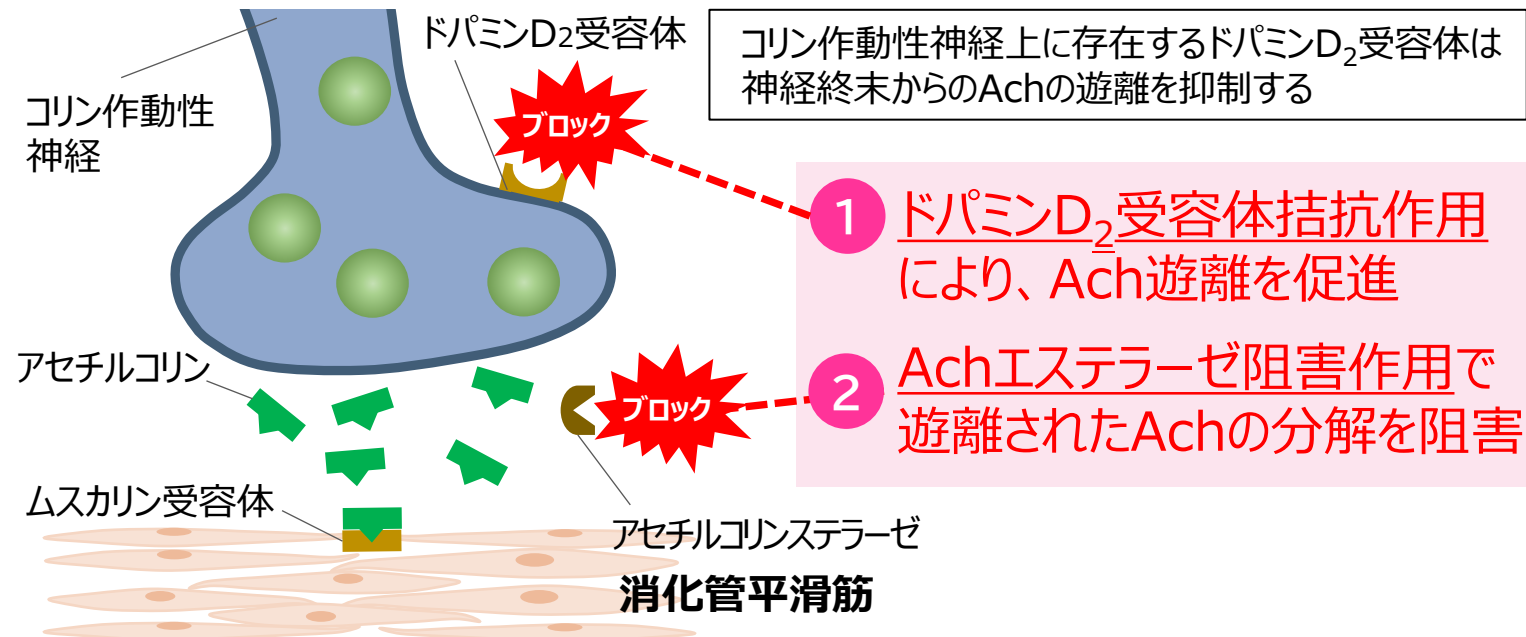


Wアタックメカニズムで胃を動かす成分を増やす！だから効く

出典：ガナトン50mgインタビューフォーム

* イラストはイメージです

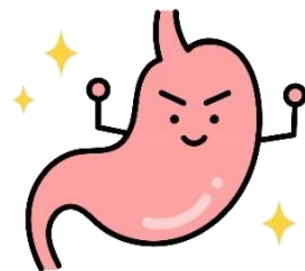
イラクナのメカニズム



生活習慣の乱れや加齢に伴い消化管運動機能が低下...

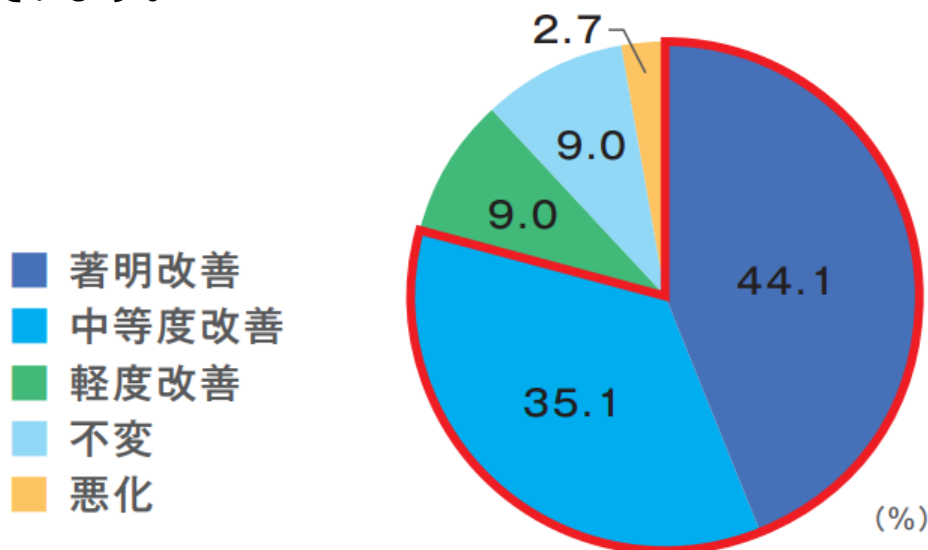
イラクナはWのメカニズムで胃を動かす！ + 制吐作用！

胃もたれ、胸やけ、食欲不振、はきけなどを改善



■ 最終全般改善度（第Ⅲ相比較試験）

最終全般改善度では、中等度改善以上79.3%、軽度改善以上88.3%の改善効果が得られています。



中等度改善以上:79.3% 軽度改善以上:88.3%※

※2週後(又は中止時)の改善率を記載

対象疾患：上部消化器症状を有する慢性胃炎患者

有効性評価対象症例：111例（医療用ガナトン錠50mg投与群）

用法・用量：医療用ガナトン錠50mg 1錠を1日3回、毎食前経口投与

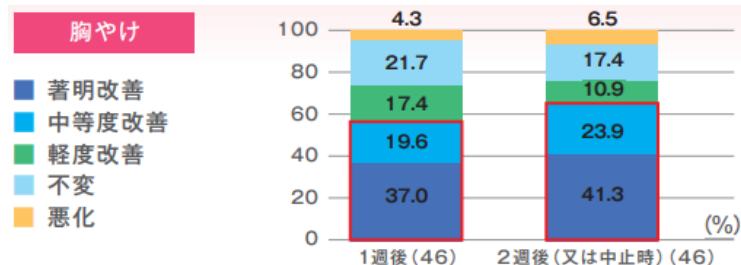
投与期間：2週間

最終全般改善度：投与2週後（又は中止時）に治験期間中の各自覚症状の推移を総合して、次の5段階評価又は「判定不能」とした。

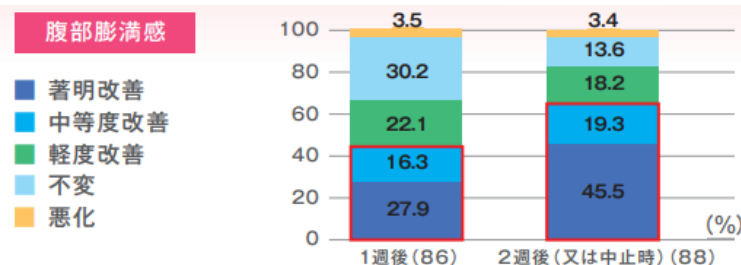
1. 著明改善 2. 中等度改善 3. 軽度改善 4. 不変 5. 悪化

■ 症状別改善度（第Ⅲ相比較試験）

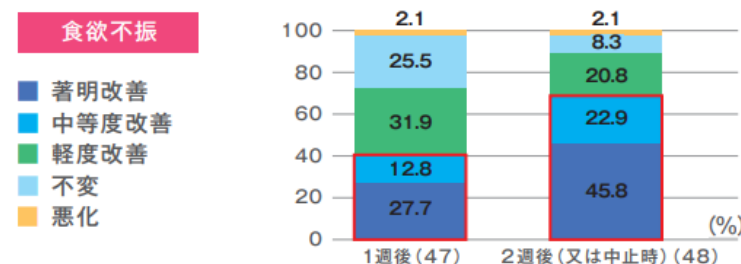
1 週後、2 週後（又は中止時）の症状別改善度でも、各症状に対し改善効果が得られています。



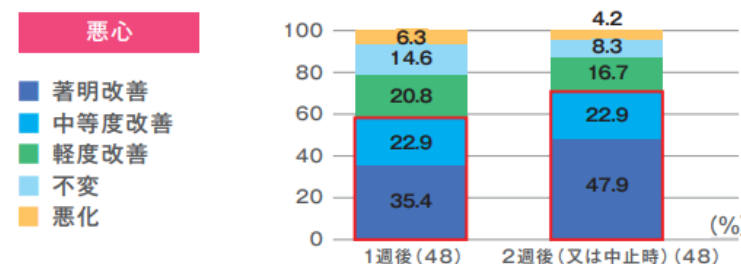
中等度改善以上:65.2% 軽度改善以上:76.1%*



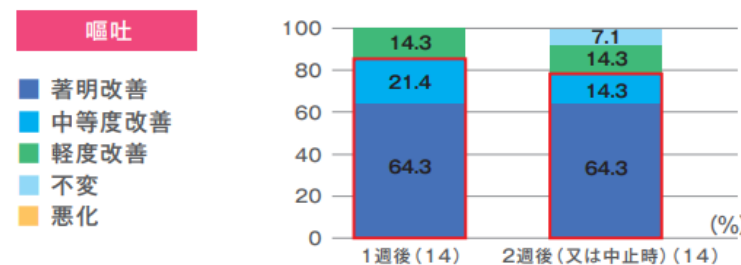
中等度改善以上:64.8% 軽度改善以上:83.0%*



中等度改善以上:68.8% 軽度改善以上:89.6%*



中等度改善以上:70.8% 軽度改善以上:87.5%*



中等度改善以上:78.6% 軽度改善以上:92.9%*

(): 症例数

*2 週後 (又は中止時) の改善率を記載

対象疾患：上部消化器症状を有する慢性胃炎患者

有効性評価対象症例：111例（医療用ガナトン錠50mg投与群）

用法・用量：医療用ガナトン錠50mg 1錠を1日3回、毎食前経口投与

投与期間：2週間

自覚症状別改善度：

投与1週間後及び2週間後（又は中止時）に各症状別の改善度を次の5段階評価した。

1. 著明改善 2. 中等度改善 3. 軽度改善 4. 不変 5. 悪化

なお、開始時から投与期間を通じて症状がない場合は「症状なし」とした。

■ 使用上の注意

器質的疾患の疑いがあるので、
医療機関の受診を！

薬効上、飲み合わせの良くない薬剤

消化器系の既往歴がある人は
専門的な治療が必要な場合があるため

ガナトン錠の安全性情報

副作用	合計
調査症例数	6,485例
副作用等の発現例数	97例
副作用等の発現例率	1.50%

医療用製品 承認時までの臨床試験と
市販後調査の合計

医療用製品での
主な副作用

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人

(2) 次の症状がある人

原因不明の体重減少、繰り返す嘔吐、血便(黒いタール状の便)、発熱

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(4) 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと

消化管運動機能改善薬(モサプリドクエン酸塩水和物、アコチアミド塩酸塩水和物等)、
胃腸鎮痛鎮痙薬、ロートエキスを含有する胃腸薬、ベタネコール塩化物を含有する胃腸薬、
乗り物酔い薬、鼻炎用内服薬、かぜ薬
(本剤のコリン作用を増強、もしくは減弱させるおそれがある)

3. 授乳中の人には本剤を服用しないこと

(動物実験で乳汁中への移行が認められている)

4. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

(1) 医師の治療を受けている人

(2) 高齢者

(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

(4) 次の診断を受けた人

腎臓病、肝臓病

(5) 次の病気にかかったことのある人

胃がん、胃・十二指腸潰瘍

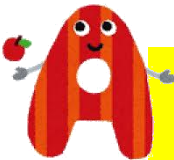
副作用が強く現れる
可能性があるため

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、
直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	下痢、便秘、腹痛、吐き気、だ液の増加
精神神経系	ふるえ、頭痛、イライラ感、睡眠障害、めまい
循環器	動悸
その他	胸や背中の痛み、疲労感、乳汁分泌、無月経、女性化乳房(男性に発症する女性のような乳房)



イラクナをお客様に安全に
使用いただくための注意点は？



お客様が添付文書の
以下項目に該当しないことを
ご確認の上でイラクナをお勧めください。

1 してはいけないこと

2 相談すること



まずは、添付文書の「してはいけないこと」に該当しないことの確認

1 次の項目がひとつでも「YES」に該当する場合は、
本剤の服用はできませんのでご注意ください。

- 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 次の症状がひとつでもある人
原因不明の体重減少、繰り返す嘔吐、血便（黒いタール状の便）、発熱
- 妊婦又は妊娠していると思われる人
- 15才未満の小児
- 次の医薬品を服用しており、中止できない人（本剤と併用できない薬です）
消化管運動機能改善薬（モサプリドクエン酸塩水和物、アコチアミド塩酸塩水和物等）、
胃腸鎮痛鎮痙薬、ロートエキスを含有する胃腸薬、ベタネコール塩化物を含有する胃腸薬、
乗り物酔い薬、鼻炎用内服薬、かぜ薬
- 授乳中の人

YES	NO
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐

ひとつでも「YES」がある場合は、
服用しないでください。

すべて「NO」の場合は **2** へお進みください。



続いて、添付文書の「相談すること」に該当しないことの確認

2

以下の場合に該当するか、更にご確認ください。ひとつでも「YES」に該当する場合は、本剤の服用ができない場合がありますため、医師等にご相談ください。

- 医師の治療を受けている人
- 高齢者
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 次の診断を受けた人
- 腎臓病、肝臓病
- 次の病気にかかったことのある人
- 胃がん、胃・十二指腸潰瘍

YES	NO
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐

ひとつでも「YES」がある場合は、
本剤が服用できない場合があります。

本資料15～16ページの詳細説明
をご参考に、必要な場合には医師に
相談するようご指導ください。

すべて「NO」の場合は本剤を服用いただけます。

添付文書に記載されている注意点(次ページ参照)
を守った上でイラクナをお勧めください。



服用可能な場合には、添付文書に記載されている以下の注意点を守った上で服用ください

- ・定められた用法・用量を厳守してください。
- ・本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
消化管運動機能改善薬(モサプリドクエン酸塩水和物、アコチアミド塩酸塩水和物等)、胃腸鎮痛鎮痙薬、ロートエキスを含有する胃腸薬、ベタネコール塩化物を含有する胃腸薬、乗り物酔い薬、鼻炎用内服薬、かぜ薬
- ・2週間服用しても症状の改善がみられない場合には、医師又は薬剤師に相談してください。
- ・長期連用しないでください。
- ・服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	下痢、便秘、腹痛、吐き気、だ液の増加
精神神経系	ふるえ、頭痛、イライラ感、睡眠障害、めまい
循環器	動悸
その他	胸や背中痛み、疲労感、乳汁分泌、無月経、女性化乳房（男性に発症する女性のような乳房）

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄だん（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる

■ 使用上の注意の解説①



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

使用上の注意	設定理由
1. 次の人は服用しないこと	
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人	過去に本剤又はその有効成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、本剤の服用により再度アレルギー反応を引き起こす危険があるため、服用しないようにご指導ください。
(2) 次の症状がある人 原因不明の体重減少、繰り返す嘔吐、血便(黒いタール状の便)、発熱	これらの症状のある人は胃がん・大腸がん、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病等の器質的疾患の疑いがありますので、医療機関を受診するようご指導ください。
(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人	本剤の妊娠中の投与に関する安全性は確立していません。また、動物実験(ラット)で胎児に移行することが報告されていることから、服用しないようご指導ください。
(4) 15才未満の小児	本剤は小児等に対する安全性は確立しておらず(使用経験が少ない)、その適用は成人(15才以上)に限定されています。従いまして、15才未満の小児には、本剤の服用を避けるようご指導ください。

■ 使用上の注意の解説②



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

使用上の注意	設定理由
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと 消化管運動機能改善薬(モサプリドクエン酸塩水和物、アコチアミド塩酸塩水和物等)、胃腸鎮痛鎮痙薬、ロートエキスを含有する胃腸薬、ベタネコール塩化物を含有する胃腸薬、乗り物酔い薬、鼻炎用内服薬、かぜ薬(本剤のコリン作用を増強、もしくは減弱させるおそれがある)	これらの医薬品は本剤のコリン作用を増強、もしくは減弱させるおそれがあるため、本剤を服用している間は服用しないようご指導ください。なお、使用上の注意に示した胃腸薬のうち、抗コリン作用のある成分を含有する胃腸薬は、本剤の薬理作用とは相反する作用があります。
3. 授乳中の人は本剤を服用しないこと (動物実験で乳汁中への移行が認められている)	本剤は動物実験で乳汁中に移行することが報告されていることから、授乳中の人は本剤の服用を避けるようご指導ください。
4. 長期連用しないこと	長期連用すると副作用が現れるおそれがあり、また、症状が続く場合には、他の疾患の可能性も考えられるため、服用を中止し、医療機関を受診するようご指導ください。

■ 使用上の注意の解説③



相談すること

使用上の注意	設定理由
1. 次の人は服用前に医師等に相談すること	
(1) 医師の治療を受けている人	医師の治療を受けている人は、他の薬剤の投与を受けている等の可能性があります。自己判断で他の薬剤を服用することは、同種薬剤の重複投与や相互作用を引き起こすおそれがあるため、服薬状況等を確認の上、必要に応じてかかりつけの医師に相談するようご指導ください。
(2) 高齢者	一般的に高齢者は生理機能が低下していることが考えられ、副作用があらわれやすいことから使用者の健康状態等を伺ってご判断ください。また、必要に応じて医師に相談するようご指導ください。
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人	薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人は再度アレルギー症状を起こす危険性があるため、アレルギーを起こした薬剤及びその類縁の薬剤を避けて使用する必要があります。本剤によってもアレルギー症状を起こすおそれがあるため、アレルギー症状が生じた場合は、必要に応じて医療機関を受診するようご指導ください。

■ 使用上の注意の解説④



相談すること

使用上の注意	設定理由
(4) 次の診断を受けた人 腎臓病、肝臓病	医療用ガナトン錠50mgの添付文書では、肝臓及び腎臓における臨床検査値異常の副作用(肝臓:AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、ALP上昇、腎臓:BUN上昇、クレアチニン上昇)が報告されております。従いまして、これらの疾患を持っている人は、本剤の副作用が強くあらわれる可能性があるため、医師に相談するようご指導ください。
(5) 次の病気にかかったことのある人 胃がん、胃・十二指腸潰瘍	これらの疾患の既往歴を有する人は、これらの疾患の背景を踏まえた専門的な治療を必要とする場合があるため、使用者の現在の治療状況等を確認の上、医師に相談するようご指導ください。

■ 使用上の注意の解説⑤



相談すること

使用上の注意

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師等に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	下痢、便秘、腹痛、吐き気、だ液の増加
精神神経系	ふるえ、頭痛、イライラ感、睡眠障害、めまい
循環器	動悸
その他	胸や背中の痛み、疲労感、乳汁分泌、無月経、女性化乳房（男性に発症する女性のような乳房）

設定理由

人によっては本剤の服用により、これらの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用者の症状等を聞き取るなど十分確認した上で、直ちに服用を中止し、医療機関を受診するようご指導ください。

（症状に関する補足説明）

医療用ガナトン錠50mgの使用上の注意の「その他の副作用」を、使用者が理解しやすいように一部を読み替えて設定しました。

- ・「そう痒感」→「かゆみ」
- ・「嘔気」→「吐き気」
- ・「唾液増加」→「だ液の増加」
- ・「女性化乳房」→「女性化乳房(男性に発症する女性のような乳房)」
- ・「振戦」→「ふるえ」
- ・「胸背部痛」→「胸や背中の痛み」
- ・「プロラクチン上昇」→「乳汁分泌、無月経」

■ 使用上の注意の解説⑥



相談すること

使用上の注意

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄だん(皮ふや白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる

設定理由

医療用ガナトン錠50mgの添付文書では、重大な副作用として、「ショック、アナフィラキシー(頻度不明)」及び「肝機能障害、黄だん(頻度不明)」が報告されています。

このような症状があらわれた場合は、服用を中止し、直ちに医療機関を受診するようご指導ください。

3. 2週間服用しても症状がよくなり
ない場合は、服用を中止し、添付文書
を持って医師等に相談すること

医療用ガナトン錠50mgの臨床試験において、初期第Ⅱ相試験における2週後(又は中止時)の全般改善度(中等度改善以上)は69.6%、後期第Ⅱ相試験で73.7%、更に第Ⅲ相比較試験では79.3%であり、本剤は使用2週間位で、十分な改善効果が得られると判断しました。従って、2週間程度服用しても症状の改善が見られない場合は、他の疾患の可能性も考えられるため、服薬状況を確認の上、服用を中止し、医療機関を受診するようご指導ください。

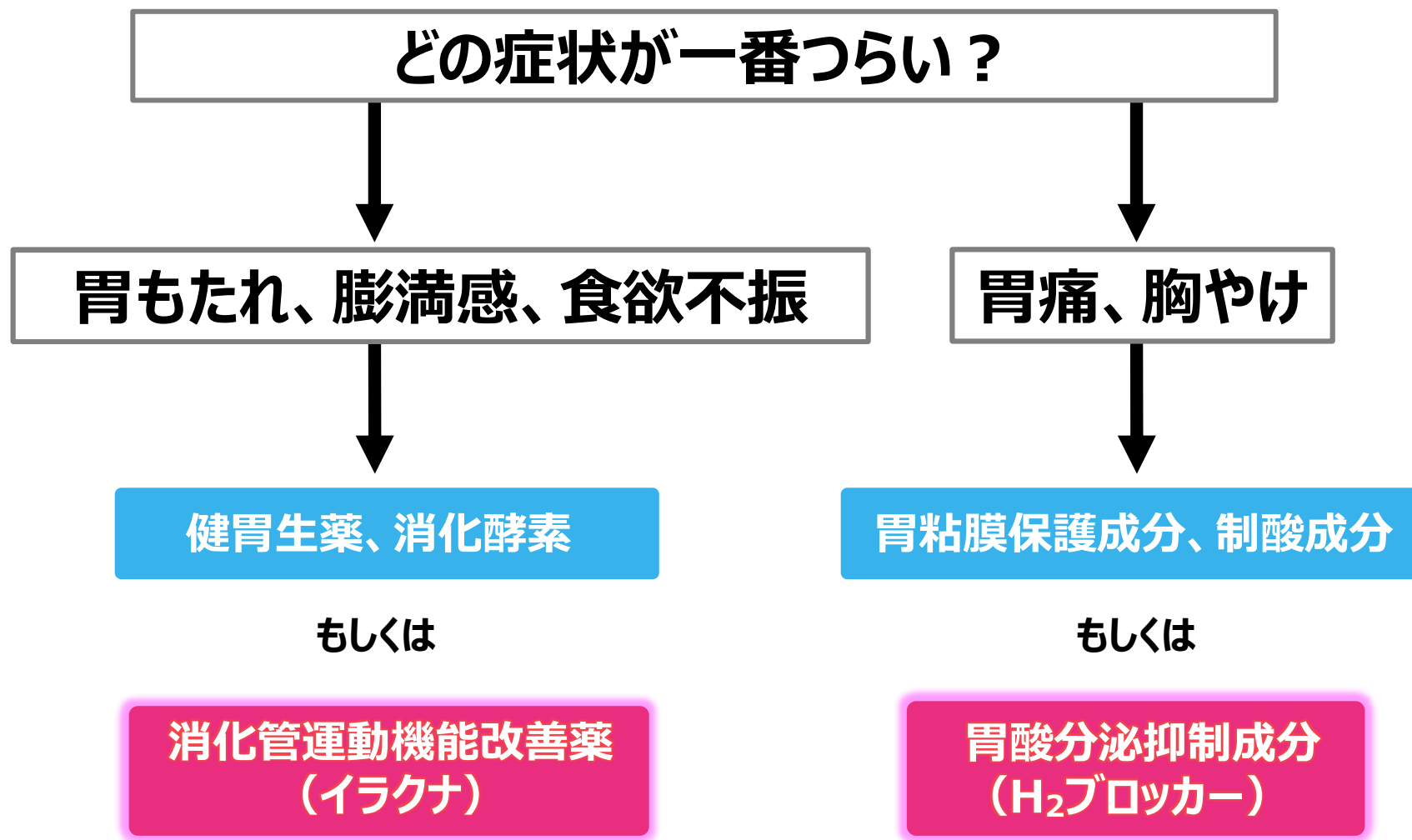


様々な胃腸薬をどのように
使い分ければ良いの？



- 1) 胃腸の症状にお悩みの方
- 2) はきけにお悩みの方

1) 胃腸の症状にお悩みの方



1) 胃腸の症状にお悩みの方

どの症状が一番つらい？

胃もたれ、膨満感、食欲不振

胃痛、胸やけ

健胃生薬、消化酵素

もしくは

消化管運動機能改善薬
(イラクナ)



どう使い分ければ良いの？

1) 胃腸の症状にお悩みの方



イラクナをおすすめいただきたいケース①



**胃もたれ、膨満感、食欲不振
などの症状がある**



昔より頻繁に胃の不調を感じる

40才を越えて胃の動きの低下を感じている方など

1) 胃腸の症状にお悩みの方



イラクナをおすすめいただきたいケース②



**胃もたれ、膨満感、食欲不振
などの症状がある**



**健胃生薬・消化酵素以外
の薬が欲しい**

2) はきけにお悩みの方

胃腸以外の症状がある(頭痛、めまい等)

YES

受診勧奨

NO

はきけの他にどの胃腸症状が辛い？

胃もたれ、膨満感、食欲不振

健胃生薬、消化酵素

もしくは

消化管運動機能改善薬
(イラクナ)

胃痛、胸やけ

胃粘膜保護成分、制酸成分

もしくは

胃酸分泌抑制成分
(H₂ブロッカー)

2) はきけにお悩みの方



イラクナをおすすめいただきたいケース③



はきけがある

+

はきけを誘発する
作用点をブロック



胃腸以外の症状(頭痛、めまいなど)は無い

+

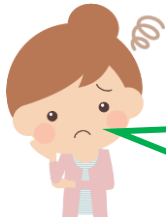


胃もたれ、食欲不振、胸やけ
などの胃腸症状がある

■ 小林製薬の消化管トラブル改善薬

	ギュラック  要指導医薬品	イラクナ  第②類医薬品 2026年9月に第1類から第②類へ変更予定	ギャクリア  第2類医薬品
効能効果	過敏性腸症候群の次の諸症状の緩和：腹痛又は腹部不快感を伴い、繰り返し又は交互にあらわれる下痢及び便秘（以前に医師の診断・治療を受けた人に限ります。）	胃もたれ、胃部・腹部膨満感、食欲不振、胸やけ、はきけ、嘔吐	体力中等度以下で、胃腸が弱く、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症：胃炎、胃腸虚弱、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐
有効成分	ポリカルボフィルカルシウム	イトプリド塩酸塩	六君子湯エキス
こんな方に	IBSによって繰り返す下痢に	食べ過ぎてもないのに起こる胃もたれ・膨満感に	胃酸逆流、胸のムカムカなどでみぞおちがつかえる方に

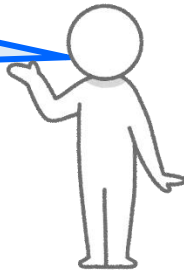
■ Case study



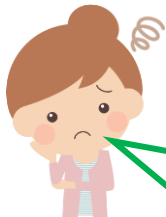
お客様

最近、なんだか胃の調子が悪くて…
おすすめの薬はありますか？

どの症状が一番つらいですか？



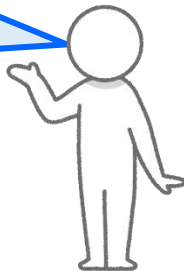
店員様



お客様

胃もたれが特に辛いんです！前は
〇〇(消化酵素配合医薬品)を飲んだけど
胃の調子が悪いままで…

たくさん食べ過ぎたなど、胃もたれの原因に
何かお心当たりはございますか？



店員様



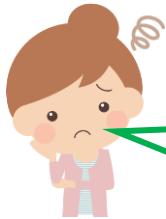
お客様

最近は今までの食事量でももたれることがあって…
なんだか胃が疲れている気がするんです



このケースではどのような対処がおすすめでしょうか？

■ Case study



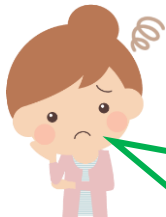
お客様

最近、なんだか胃の調子が悪くて…
おすすめの薬はありますか？

どの症状が一番つらいですか？



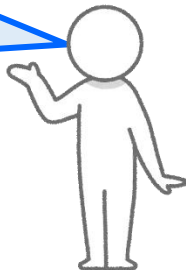
店員様



お客様

胃もたれが特に辛いんです！前は
〇〇(消化酵素配合医薬品)を飲んだけど
胃の調子が悪いままで…

たくさん食べ過ぎたなど、胃もたれの原因に
何かお心当たりはございますか？



店員様



お客様

最近は今までの食事量でももたれることがあって…
なんだか胃が疲れている気がするんです



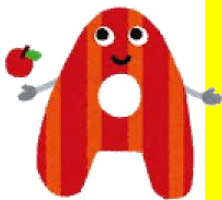
このケースではどのような対処がおすすめでしょうか？

■ Case study



お客様

- 胃もたれが辛い
- 消化酵素では効果が不十分であった
- 今までの食事量でももたれる
- 胃が疲れている気がする



**胃もたれなどの胃の不調を改善する
イラクナでの対処もオススメです！**



■ Q&A

**Q1. 多く服用した際（過量服用時）には
どうしたらよいですか？**

A1. 誤って本剤を多く服用したことにより身体に何らかの異常が生じた場合は、
本剤の服用を中止し、医療機関を受診するようご指導ください。

**Q2. 食前に飲み忘れてしまった際には
どうしたらよいですか？**

A2. 服用し忘れた場合は服用せずに、次の回に1回分を服用してください。
決して2回分を一度に服用しないようご指導ください。

Q3. 割って量を調節して服用してもよいでしょうか？

A3. 割線が入っていますが、割って量を調節して服用しないようご指導ください。
期待した効果が得られなかったり、作用が強くなる可能性があります。

■ Q&A

**Q4. 用法や用量を誤って服用してしまった際には、
どのようにしたらよいでしょうか？**

A4. 本剤の服用により身体に何らかの異常が生じた場合は、
本剤の服用を中止し、医療機関を受診するようご指導ください。

**Q5. 本剤を服用しても、症状の改善が見られず、
胸やけが悪化したり、嘔吐が持続したりする場合は
どのようにしたらよいでしょうか？**

A5. このような症状の場合は、器質性疾患の可能性も考えられるため、
使用者の症状等を聞き取るなど十分確認した上で、直ちに服用を
中止し、医療機関を受診するようご指導ください。

ご視聴ありがとうございました



小林製薬株式会社